

運動・スポーツ中の事故防止対策
チェックリスト 安全管理体制・緊急連絡先の整備

- ☐
- 設置者が管理運営を他者に委託している場合、役割・責任分担を明確にしていますか？

※ 施設管理上の瑕疵で施設利用者が事故にあった場合、損害賠償責任を問われる可能性がありますので、責任をもって施設管理を行いましょ

- ☐
- 安全対策の責任者を定め、役割分担を明確にしていますか？

- ☐
- 安全管理を担当する者に、安全管理に必要な知識、事故のリスク、事故予防対策について教育研修を行っていますか？

※ 安全管理担当者に専門資格（公認スポーツ施設管理士、公認スポーツ施設運営士、公認上級スポーツ施設管理士、スポーツ救急員公認インストラクター等）を取得させることも有効です

- ☐
- 施設管理におけるリスクを洗い出し、予防策を講じていますか？

※ 以下の点に留意しましょう

- ・運動・スポーツ関連施設の安全確認
- ・安全管理体制の確立
- ・十分な現場の安全管理の人数や能力の確保
- ・緊急時の連絡体制の確立
- ・EAP（緊急時対応計画）の作成
- ・応急対応の準備（AED、医療機関の連絡先確保等）

 施設・設備・用具の安全性確保と定期的な点検・補修

- ☐
- 施設・設備・用具は、安全性や仕様に関する国際基準・国内基準に準拠し、設計段階から安全性を確保していますか？

※ 競技用施設については、各中央競技団体が定める基準に適合するようにしましょう

- ☐
- 施設・設備・用具に不具合・破損等の問題がないか点検していますか？

※ 以下に留意して点検を徹底しましょう

1. 複数人数で点検すること（早期発見、早期原因究明、早期修理につながります）
2. チェックリストを作成するとともに、点検結果を記録して履歴を管理・活用しましょう
3. 目視、打音、振動、負荷、作動などの方法を用いて点検を行いましょ
4. 日常点検とは別に、専門業者に定期点検を依頼することも検討しましょ

※ 点検においては、以下に留意しましょう

1. 老朽化部分の確認、破損、危険な突起物の有無の確認
2. 体育館等の屋内施設の設備・床板などの緩み、腐食、水漏れの確認
3. 倒れる危険性のあるもの（サッカーゴール、テニスの審判台など）の固定
4. 危険箇所や立入禁止区域の表示確認（行かせない・触らせないように物理的措置をしましょ）
5. 非常時の避難設備や消防設備の確認（避難経路や避難場所も確認しておきましょ）



- ☐
- 早期修繕が難しい時は、使用禁止やマニュアル等で対処していますか？

- ☐
- AEDを適切に設置し、施設関係者に定期的な訓練をしていますか？

※ 運動・スポーツ用の施設、多数集客施設、学校にはAEDを設置しましょ

※ AEDは、心停止発生から5分以内に装着ができる場所への配置、分かりやすい掲示、関係者への周知、いつでも使用できる状態の確保、適切な維持管理が必要です。



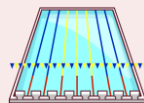
利用者に対する安全利用に関する注意喚起・情報提供

- ☐ 施設や道具の安全な使用方法を掲示等により周知していますか？
 - ※ 本来の目的以外の方法で使用しないことも含め周知しましょう
 - ※ こどもが利用する場合は、保護者に対しても周知しましょう
- ☐ 熱中症予防のため、飲水用の設備や製氷機を備えていますか？



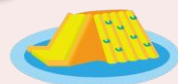
特に注意が必要な施設 ～プール～

- ☐ 監視員や救護員など十分な監視体制を確保していますか？
 - ※ プール全体がくまなく監視できる十分な数の監視員、速やかに対応できる十分な数の救護員を確保し、監視員の集中力持続のための休憩時間の確保にも考慮しましょう
- ☐ 禁止事項等を利用者に周知し、違反者に対して指導を行っていますか？
- ☐ プール使用期間前の点検・整備(特に排水口の安全確認)、毎日・定時の目視・触診・打診点検、使用期間終了後の点検を行っていますか？
 - ※ 排水口の点検は、水を抜いた状態で蓋等が堅固に固定されているか(ネジ等の腐食、変形、欠落、ゆるみ等がないか)、吸い込み防止金具等が取り付けられているか等を確認しましょう
 - ※ 通年使用するプールは、1年に1回以上全換水を行い、水を抜いた状態で点検を行いましょう



特に注意が必要な施設 ～水上設置遊具～

- ☐ 落水した利用者の浮上を見届ける監視体制を維持していますか？
 - ※ 水中巡視点検方法(水中監視カメラ、水中ドローン等)を検討しましょう
- ☐ 落水事故につながる危険源を掲示(遊具にも識別表示)していますか？
- ☐ 禁止事項(落とし合い等)、利用制限(身長・年齢等)、落水時の対応(遊具から離れる)を利用者に徹底していますか？



特に注意が必要な施設 ～トランポリン施設～

- ☐ 安全管理を行う監視員や技術指導を行う指導員を配置していますか？
- ☐ 危険性や安全対策を利用者に丁寧に説明・周知していますか？



特に注意が必要な施設 ～クライミング・ボルダリング施設～

- ☐ 施設の広さに見合った人員配置を行い、利用状況の監視や必要に応じた利用者に対する注意・指導を行わせていますか？
- ☐ 利用者(こどもの場合は保護者も)に安全利用の周知をしていますか？
 - ※ 落下を伴うスポーツであり、着地の動作、落下時の衝突回避等が重要であること
 - ※ ロープを使用する場合は、ロープワーク技術の習得が必要であること
 - ※ 待機児は周囲を観察し、側方や後方からの落下にも注意すること(特に狭小な施設)
- ☐ クライミングマットや各種支点・器具の点検をしていますか？

